

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (藤井 嘉彦)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.7 億円
		通常砂防事業 まえたがわ 前田川		内用地補償費	0.3 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神崎郡市川町上牛尾 <small>かみうしお</small>			H20	H20	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 ・当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、町道及び寺家公民館を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 11.0m, L = 80.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全、安心		・前田川は土石流危険溪流である。 ・平成18年7月の豪雨により、溪岸の浸食が進み流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象は、人家30戸、町道、寺家公民館などがある。 ・地元の土砂災害に対する認識度が高く、事業化への要望が強い。 ・平成19年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ソフト面からも土砂災害対策を推進する。			
(2)有効性・効率性 有効性		・人命・財産(人家30戸)、町道及び地域の重要な交流拠点となっている寺家公民館を保全し、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・地元からの要望が強く、町の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、法面緑化を図るなど環境保全に努める。			
(4)優先性		・当溪流は土砂災害緊急整備5ヶ年計画に位置付けられている。 ・土石流危険区域には人家30戸、町道及び地域の重要な交流拠点となっている寺家公民館がある。 ・流域状況は荒廃が進み、土砂流出の危険性が高まっているため、上牛尾地区の人命・財産等を保全する早急な対策が必要である。			

計画概略図
縮尺1:12,000

まえだがわ
前田川
[市川町]

流域面積A=1.18km²

三田橋

えん堤工

凡例	
	事業実施箇所
	土石流危険区域
	保全人家等



えん堤工 H=11.0m, L=80.0m

寺家公民館

